

平成22年の火災・救急・救助概況



火災

▲は減少を示します

区 分	平成22年	平成21年	増 減
火災件数合計(件)	110	109	1
建物火災	66	56	10
うち 住宅火災	38	34	4
林野火災	5	10	▲ 5
車両火災	11	12	▲ 1
船舶火災	0	0	0
その他の火災	28	31	▲ 3
死者(人)	9	6	3
うち 住宅火災	7	3	4
負傷者(人)	11	13	▲ 2

平成22年中に市内で発生した建物火災は66件で、そのうち住宅火災は38件でした。

火災による死者は9人で、うち住宅火災による死者は7人、車両火災1人、その他の火災1人でした。住宅火災で亡くなられた7人のうち3人(3人とも65歳以上)は逃げ遅れによるものとみられ、これらの住宅には住宅用火災警報器は設置されていませんでした。

津市における住宅用火災警報器の推計設置率は、平成22年度調査で65.3%となっていますが、火災が発生した住宅では、約29%(38件中11件)と、設置率が低いという傾向がみられました。



救急

区 分	平成22年	平成21年	増減	
出動件数	12,224	11,572	652	
搬送件数	11,312	10,693	619	
搬送人員	11,532	10,925	607	
主な事故種別	急 病	7,416	6,997	419
	一般負傷	1,841	1,744	97
	交 通	1,469	1,357	112

平成22年中の市内における救急出動件数は12,224件で、前年に比べ652件の増加となり過去最高の出動件数となりました。前年と比較し、急病、交通、一般負傷の増加がみられます。

事故種別でみると、例年同様急病が7,416件で最も多く、次いで一般負傷の1,841件、交通の1,469件の順となっています。

また、傷病程度では、全体の約半数が軽症者で占めており、この中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されることから、救急車の適正利用について御協力をお願いします。



救助

区 分	平成22年	平成21年	増減	
出動件数	118	157	▲ 39	
活動件数	56	81	▲ 25	
救助人員	53	81	▲ 28	
主な事故種別	交通事故	74	98	▲ 24
	火 災	7	3	4
	水難事故	5	8	▲ 3
	建物等による事故	5	10	▲ 5

平成22年中の市内における救助出動件数は118件で、前年に比べ39件の減少となりました。

事故種別でみると、火災が7件で、4件の増加となりましたが、その他は減少し、最も多いのが交通事故の74件で、全体の62.7%を占めています。

火災の救助件数が増加したのは、建物火災が増加したことが大きな要因と考えられます。また、救助人員は53人でした。